

# 牛久：学校周辺に見る自然

第14号 茨城県南各地

2010年6月2日発行

## ＜いずれアヤメかカキツバタ？ — その見分けかた ＞



二人の美人を例えて「いずれアヤメかカキツバタ」といいますが、いずれもアヤメ科・アヤメ属で互によく似ているアヤメとカキツバタ、そしてハナショウブ、キショウブはどう見分けたらよいのでしょうか？

### ①アヤメ *Iris sanguinea*

これらの中では唯一、草原の植物。たれ下がる大きな外花被片(花卉のように見えるがガクにあたる)にハッキリした網目模様(文目(あやめ)<sup>がいかひへん</sup>)が発達しています。(カキツバタやハナショウブの網目模様はあってもほんのわずかですが、ハナショウブの改良品種には発達した網目をもつものもあり、ややこしい。)各地で「あやめ祭り」といっているのは、ハナショウブであることが多いようです。

←草原に咲くアヤメ

### ②ハナショウブ *Iris ensata* var. *ensata*



葉の中央部に、太い筋が走っています。これがサトイモ科のショウブと共通しているためにハナショウブと名づけられました。これの野生種、ノハナショウブでは、外花被片の中央に黄色の筋があります。

↑水辺に咲くハナショウブ・外花被片の色や模様は多様。葉の中央に太い筋が走る



ノハナショウブ・葉中央に太い筋、外花被片中央に黄色の筋↑

### ③キショウブ *Iris pseudacorus*



黄色い花を咲かせる移入種ですが、あちこちで野生化しています。ハナショウブと同じく葉の中央部に太い筋が走ります。黄色い花でショウブ(サトイモ科)の葉に似ているので、「キショウブ」と名づけられました。

←水辺に咲くキショウブ

### ④カキツバタ *Iris laevigata*

葉はアヤメと同様ですが、花はノハナショウブに似て外花被片中央に純白の筋があります(ノハナショウブでは黄色の筋)。【理科支援員・宮内】

水辺に咲くカキツバタ←



※ 見分けかた

草地に育つ →外花被片は紫で網目模様が発達→葉の中央に太い筋はない→ **アヤメ**

水湿地に育つ→外花被片は紫で中央に純白の筋がある→葉の中央に太い筋はない→ **カキツバタ**

→外花被片は紫で中央に目立つ黄色い筋がある→葉の中央に太い筋が走る→ **ノハナショウブ**

→外花被片は色彩・模様が多样で内花被片も大きい→葉の中央に太い筋が走る→ **ハナショウブ**

→外花被片は黄色→葉の中央に太い筋が走る→ **キショウブ**